

議会だより

おかげさまで



平成18年度一般会計決算認定など	2
9月議会の概要版	2
一目でわかる	
賛成・反対表	4
委員会だより	5
平成18年度一般会計決算認定	
反対討論VS賛成討論	8
8名の議員が登壇	
一般質問	10
住民の声	14
請願・陳情	15
編集後記など	16

定例会

9月

概要

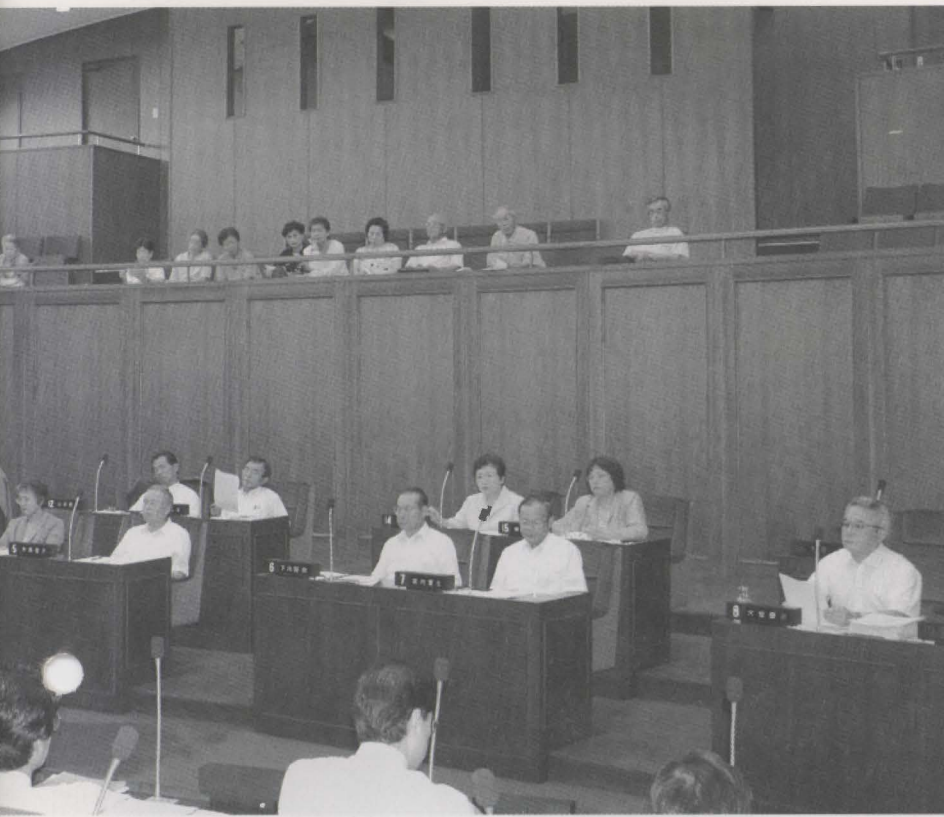
平成18年度決算

一般会計

実質収支

3億5千414万8千円の黒字

財政調整基金から4億1千万円を繰り入れて調整はかる



第3回定例会は9月5日から9月20日までの16日間の日程で開催され、受益と負担のあり方等について激論が交わされました。

本会議に提出された13議案はすべて可決されました。

主なものは

- ① 人事案件4件
- ② 岡垣町職員の退職手当に関する条例の一部改正
- ③ 平成19年度岡垣町一般会計補正予算
- ④ 岡垣町企業誘致条例の改正

岡垣町各決算概要

(単位 円)

歳入額	歳出額	差引額
7,853,481,879	7,477,333,800	376,148,079
3,294,927,414	3,323,157,437	△28,230,023
3,872,160,356	3,917,743,070	△45,582,714
2,755,130	3,841,292	△1,086,162
651,809,557	712,087,714	
1,437,291,875	1,745,160,417	

※企業会計のため表示できません。



平成19年度一般会計補正予算

○5438万1千円を追加

主なものは、

○職員退職金(2名分)

2842万7千円

○健康増進計画策定委託料

469万4千円

○矢矧川改修促進期成会負担金

15万円

○防犯灯の設置(吉木)補助金

180万円

企業誘致条例の改正

○地域の活性化と雇用の拡大のため業種の拡大

○賑わいのある中心市街地づくりのための特例措置

人事

○監査委員の選任について

石田 光明 さん(戸切区・新任)

○固定資産評価審査委員の選任について

穴井 秀幸 さん(緑ヶ丘区・新任)

○教育委員の任命について

十時 榮一 さん(三吉区・再任)

○人権擁護委員の推薦について

藤原 一子 さん(南高陽区・再任)

⑤平成18年度岡垣町一般会計、特別会計
決算認定

⑥中間市、芦屋町及び岡垣町送水管維持
管理協議会の廃止

⑦陳情3件・意見書1件

平成18年度

一般会計
国民健康保険
老人保健
住宅新築資金
水道会計
下水道会計

全員協議会

○北部福岡緊急連絡管(福北導水)事業について

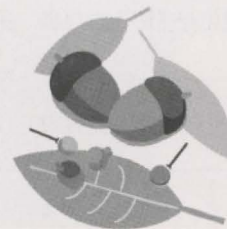
北九州市から福岡都市圏への緊急導水管工事47km工事が、平成19年度から3年間予定されています。(本年、町内3カ所)

○旧岡垣清掃センターについて

平成19年度内に埋立地関係を除く処理施設の解体が行われます。

○後期高齢者医療広域連合について

平成20年4月1日より75歳以上の医療制度が始まります。第1回の福岡県後期高齢者医療広域連合議会が開催されました。





イオンスーパーセンター佐賀店を視察

総務常任委員会 委員長 木原 信次

イオンスーパーセンター佐賀店は、佐賀郡東与賀町に設置されている。

東与賀町は面積15・39km²で人口8304人の町であり、佐賀市と隣接し、平成19年10

月に佐賀市と合併が予定されている。

商圈は佐賀市と一帯であり、周辺には平成5年以降15店程の大型店が出店している。

イオンスーパーセンターは2005年(平成17年)4月23日に開店した。

町の小売商店にとっては、驚異の商業施設である。

イオンスーパーセンターは、店舗の品揃えの状態は食料品、衣料、家電、園芸と総合食料販売とホームセンターを兼ねたものである。

駐車場台数1532台を要する駐車場を持ち、ほぼ全ての買物が一度に可能で、多くの住民が利用している。

東与賀町の商工会では会長、事務局長と懇談が可能となった。

商工会のイオンスーパーセンターに対しての姿勢は、多くの小売業者が多大の影響を受けているが、諦めの感情であろう。それは、町の住民

がスーパーセンターに好意を持っているからと思える。

商工会としては、イオンと共存するというより、高齢者への宅配事業の可能性等を探り、生き残りを図っているようであった。

岡垣町議会もイオンスーパーセンターが19年10月末に糠塚・黒山地区に開店する予定であるが、注視し、地元商工会との会議を重ねていく必要があると考えている。

閉会中の継続調査

- ①岡垣町第4次総合計画 後期基本計画について
- ②住民との協働のまちづくりについて



イオン佐賀店視察



対面販売でのふれあい

具体的な健康づくり対策で 国保会計の健全化を

文教厚生常任委員会 委員長 下川路 勲

岡垣町第三回定例議会は去る9月20日に終わりました。

定例議会はいわゆる決算議会で、平成18年度一般会計、国民健康保険特別会計、老人保健特別会計等の認定でした。

私たちの主管する分掌は生活環境や福祉の問題、健康づくり、学校教育や社会教育と、すべてが日頃の私たちの生活に密着し、関係の深い問題ばかりです。

岡垣町も高齢化が進み、病院通いが多くなり、国民健康

保険会計を見てもずっと赤字認定です。ちなみに平成15年度が約1億2千万円、16年度が約1億1千8百万円、17年度が約4千3百万円、18年度が約2千8百万円と、減ってはいるものの赤字決算です。このままでは大変なことになります。早急に健康づくり推進協議会において協議し、住民の方と共に、皆がいかにすれば健康になれるか、寝たきりにならないようになるか、一人一人がどんな生活をすれば健康で明るい朝を迎えられるか等、具体的な提案を期待したいと思います。



タオルを使ってストレッチ

核家族が増え、隣近所との付き合いの希薄化は時代の流れかもしれません。しかし、

個々のプライバシーは尊重しながらも、出来るだけ近所とは仲良く楽しく快活に、生活できるような地域づくり、まちづくりが望まれます。そのことが国保会計の健全化につながると思います。

閉会中の継続調査

- ①教育問題について
- ②子育て、健康づくりについて
- ③環境問題について



山田学童保育所で意見交換



現場の実情を知ろう！ 商工会・漁協との懇談会実施

経済建設常任委員会 委員長 大堂 圏治

議会閉会中の審査・調査事項としていた、①商工業の振興、②漁業振興についての取り組みとして、当事者の実態とニーズを把握するために懇談会を実施しました。

先ず、商工会との懇談会は

7月17日、商工会館に向いて商工会役員の皆様と現状の課題と今後の対応についての協議をいたしました。

①商工振興策の重要な課題である、TMOの現状と課題について。

②イオン出店について。
③今後の商工業の振興策について。

この三点のテーマについて、行政の動きや商工会の実情や課題について、率直な意見を交換しました。

イオン進出は地元の商工業者にとっては深刻であり、どのように現状を打開していくかを協議して、積極的な行動が求められていることを共通認識することができました。

漁協との懇談会は8月27日波津支部へ全委員が出向いて組合長や事務主任の方々との協を取り巻く実情や、今後の対応策について、意見交換や建設的な施策について協議しました。

関係法律の改訂に沿った、振興策を漁業者と行政が連携

して取り組んでいくことの重要性や漁獲品の付加価値をどのように高めていくかなどの貴重な意見が出ました。

現状と問題点を共有し、当事者が求めている効果的な施策を実行していくことの役割と責任が議会にもあることを、再認識することができた、有意義な懇談会でした。

当委員会は今後とも、現場や当事者の声を大切にしたい、委員会活動を実行していきます。

閉会中の継続調査

- ①商工業の振興について
- ②水産業の振興について
- ③地域振興について



岡垣町商工会新役員との懇談会



漁協の実態と将来を語りあう

一般会計 認定について

論

反対

西田 陽子 議員

交付税1億8千万円の8.5%減、臨財債3千8百万円減の中、4億1千万円の基金の繰り入れでしのいだ。少子化対策として乳幼児医療の拡充等一定評価できる。しかし、行財政改革での受益と負担の適正の名の下に公共料金アップや障害者自立支援法に基づく利用者一割負担。中でも聴覚障害者手話事業も一割負担を課したが、生活情報を得るための手段への負担は最低限度の権利も保障していない。町の福祉政策そのものに抗議する。限られた財源は社会的少数者の立場にある人たちのためにこそ使うべきだ。又住民と協働のまちづくりは情報公開が必至。ガラス張りの行政を！

平山 弘 議員

選挙で国民は、貧困と格差を広げた弱肉強食の「構造改革」にノーの審判を下した。町の「行財政構造改革」は、国の「構造改革」と同様で、住民福祉と行政サービスを低下させている。

アスベスト対策、就学援助、乳幼児医療制度の拡大などの施策は評価するが、「受益と負担」による公共料金の見直し、人件費の見直しで財政効果が出たと言うが、その分住民、職員に負担と犠牲が強いられている。

これからは町営住宅の建設など住民福祉の向上、特に障害者、乳幼児、高齢者等、社会的・経済的弱者の方々に温かい光をあてることを強く求める。

久保田秀昭 議員

自公政権及び町の構造改革により二重の苦しみを強いられているのが住民の実態です。町長も議員も住民の苦難を解決する為に政治家になつてい。財政が苦しいので我慢してくれ」だけでは、政治家としての資質が住民から問われる。参院選の結果を踏まえて、岡垣町もこれまでの構造改革からの転換が必要です。国の悪政をはね返すうえでも、政治家として今の政治の本質を見抜き、先見性を持った町づくり、住民との信頼関係の確立と岡垣町としての住民自治の真の確立が全ての基本にすわることを求める。



討

平成18年度岡垣町 歳入歳出決算

賛成

曾宮 良壽 議員



この度の決算については総合的にはISOの実施とその成果に端的に顕れていると思います。

町長の「決断と実行」はまずは行政内からということで、職員はじめ担当課それぞれが努力されてきた、痛みを分かち合ってきた、18年度の結果であると評価するところです。

町民の皆さんにとつての痛み・ご負担をお願いするところは具体的には19年度からで、20年度は更なる覚悟をもって臨まなければならないようになってきているとの認識に立って、認

定することに賛成します。

大堂 圏治 議員

行財政改革実行の初年度であったが、厳しい財政事情の中での財政運営は困難であったろうと認識しております。

実質収支で約3億5千万円の黒字の内容を住民に説明して理解を得ることが必要です。

細部の事業評価については、議会や住民の声を真摯に受けとめ、更なる改善を加えていく姿勢が大切です。

現行の事業評価制度に外部の人を加えることで、この制度の効果が更に高まると思っております。

社会変革の中、住民ニーズの多様化に応えるためには、行財政改革を断行して住民の福祉を守る、力強い行政運営力が求められます。

山田 隆一 議員



小泉内閣の三位一体改革で、地方交付税、補助金の大幅削減で又、少子高齢化で福祉予算の大幅な伸びで岡垣町を取り巻く財政状況は厳しくなりました。このため、構造改革プログラムを作成し平成18年度が実施の初年度となりました。行政経費の削減、町民の皆様には受益と負担の適正化をお願いしたりで大変厳しい行政執行であったが、実質収支は3億5千万円の黒字決算となつたことは評価できる。

平成19年度以降も少子高齢化が進み医療費等の大幅伸びが予想されるので健康増進のための施策を積極的にやって欲しい。又更なる改革を進めながら住民福祉の向上を図られんことを切望して賛成討論とします。



町政を問う

一般質問



問

町の財政問題を問う

答

構造改革の断行で積極的に対応していく



大堂 國治 議員



た改革や新たな行財政需要が生じた事が要因であり、19年度中に財政計画の見直しを行いたいと考えている。

問 町における基準財政需要額の推移をどのように見ているか。

町長 義務的経費や住民ニーズに応えるためと政策的経費を考えると、19年度の当初予算額である75億円程度が必要であると考えている。

問 歳入不足が生じることが確実であり、どのようにして補っていくかが重要であるが、その対策は。

町長 構造改革をさらに推進して、町の財政力の強化を図ると共に、国からの交付金や補助金の増加を主張していきたい。

たい。

問 構造改革のプログラムの一つである、平成21年からの固定資産税の税率アップは増税額も大きくなって、住民への影響を懸念しているが、予定通り実施するつもりか。

町長 固定資産税の税率改正はプログラムに明記しており、評価替えによる下落を補完し、税額を確保するためであることを十分に説明責任を果し、理解を求めたい。

問 歳入増を図るためには、自主財源の向上や国や県などから補助金を引き出す工夫と実行が求められているが。

町長 知恵と工夫を凝らして最大限の努力をしていきたい。

問 国の膨大な(約834兆円)借金の再建政策と地方政治へ影響について、どのように認識しているか。

町長 三位一体改革により税源移譲は行われたが、十分なものではないため地方は苦んでおり、国の配慮を一層求めていきたい。

問 町の財政計画のシミュレーションが実態と乖離しており、その要因と見直し作成をどのように考えているか。

町長 国の財政再建を優先し



問 耐震化工事を速やかに実施すべき！

答 内浦小学校から実施する（来年の夏）



竹内 和男 議員

問 岡垣町の防災計画で避難所に指定している学校等の公共施設の耐震化工事を速やかに着手すべきであるが、町長の見解を尋ねる。

町長 現在、耐震改修設計中の内浦小学校校舎を平成20年度の夏休みを中心に改修工事を行いたい。



庁舎内に設置されている地震計

問 妊婦の方や障がい者の方も避難される。簡便で安価なポータブルトイレを各避難所に少しずつでも設置すべきだがどうか

町長 防災計画の中では、想定していないが、今後の政策的な課題として受け止めた。

問 「緊急地震速報」の活用を！

答 企業や地区へ防災訓練時に説明

問 国民に、強い揺れを事前に知らせる「緊急地震速報」を学校現場や住民に周知させることで一層の防災・減災を計るべきであり、岡垣町としても活用を図るべきであるがどうか。

町長 「緊急地震速報」は、地震防災対策に有効な情報であり、今後、企業や地区の防災訓練時に説明する。

問 「緊急地震速報」を受信できる防災ラジオの導入を考えてはどうか

町長 屋外スピーカーによる同報系無線の整備を、平成20年度に実施することによって、全国瞬時警報システムに

よる緊急地震放送を受信する予定である。今後はそうした情報技術を把握してどの様に受け止めていけるのか、先に説明があったポータブルトイレなども含めて総合的に考えていきたい。

問 地域に輝きを、企業誘致の整備について

答 海老津駅南開発、岡垣宮田線沿いに、候補地選定



市津 広海 議員

問 地域産業の育成と、特産品の拡充について

町長 一年間芋焼酎づくりの施行に取り組み、8月より販売開始している。販売促進については、特産品を育てる会を設立し、今後展開する。

また9月より、地下水の販売を始めた。町の特産品として、水資源の活用に努めた。

問 芋作りのなかでは、芋ほりに時間と手間がかかるため、芋掘り機械の購入検討は。

町長 要望があれば検討する。

問 岡垣町ジュニアのバドミントン

は、日本で有名であるが、教育は公平が基本であるが、町の特産人として、中学校の課外クラブ部活動の強化は。

教育長 生徒の特性を可能な限り伸ばすため、専門的な技能を持つ、教師の配置を検討する。

問 岡垣パーキングの活用についての検討は。

町長 活用促進については、関係機関と協議したいと、考

えている。

問 新たな雇用をつくる商工業の振興策は

町長 企業誘致条例の見直しを行っていることと、海老津駅南開発の調査委託の中で、県道岡垣宮田線沿いに、企業進出可能な候補地の選定を行う。

問 松ヶ台の小学校用地の今後の土地利用について。

教育長 社会体育施設として、今後も継続する。尚学校建設の必要が生じれば、対応する。

問 賑わいのある市街地づくりについては

町長 今後の中長期的事業は、行政、商工会、地権者等に多くの負担を伴うため、慎重に対応する考えである。



イモ（黄金千貫）の収穫

問 イオン誘致は責任重大

答 相乗効果は期待できる 市街地への配慮も行う



久保田秀昭 議員

賀・東与賀町、志摩町のアンケート結果等でも相当の影響が出ています。これで相乗効果が期待できるか。

町長 イオン出店により町外からの流入と町外への流出を引き止めができる。中心市街地の近くに住んでおられる高齢者の方々が、気軽に立ち寄れるまちづくりが望ましいと思っっている。その方向で事業者が動いていくと思われるので、それが効果と考えている。

問 自分で努力しなさいと

問 イオンの店舗の売り場面積1万7千、建物のそのものの面積2万3千、04年の小売業統計では岡垣の小売店総売り場面積は1万7千、イオンの売り上げ目標80億円です。岡垣にある全ての小売業の年間販売額は138億円です。如何にひどい影響を受けるかは明らかです。町長はイオンと中心市街地のそれぞれの特性を生かしながら相乗効果を期待していると答弁しているが、他地域の実態調査も必要。調査したか。

町長 町としては調査はしていませんが、いろいろな資料はいただいている。
問 資料の提出を求める。佐



イオン建設中の現場

言っているとしか聞こえない。元々大店法を変えた背景には、中心市街地への大きな影響がある。だから日本商工会議所等も法改正を求めた。「岡垣町中心市街地活性化基本計画」の中で、郊外店舗に

よる影響を認めている。こういうことを踏まえると、イオン出店を進めてきた責任は大きい。
町長 中心市街地についても十分に考えながらまちづくりを進めていきたい。

問 将来を見据えた教育環境の課題はどうするのか

答 国の動向や町の施策を含めて総合的に検証する



矢島 恵子 議員

ティを推進している。

問 教育環境の現状と課題について
平成13年3月に策定された教育基本構想について、行財政構造改革の中で検証が行われた「小・中学校の校区再編・統廃合」について問う。
町長 これからの町づくりを進める一つの単位として、校区というものが非常に重要であると考える。校区コミュニ

教育基本構想では少子化や財政的な角度から校区の再編や施設の統廃合を今後の課題と捉えていたが、行財政構造改革プログラムの中では更に踏み込んで、これらの課題については校舎の改築時期を見据えて検証していく考えを示した。しかし、これからの財政状況を考えると不可能であり、これを解決するためには施設の統廃合が必要であり、そのためには校区の再編に取り組まなければならない。教育委員会での検証結果を踏まえて対応したい。



みんなで植えて…みんなで刈りとり

問 いじめ・不登校問題のない学校づくりの推進について問う

教育長 いじめ・不登校・その他生徒指導に係わる指導の充実を図るため、小・中学校長代表者及び生徒指導、補導主任などで「岡垣町生徒指導推進会議」を設置し、会議は定期的に行い、各小・中学校のいじめ・不登校の状況を把握しながらその対策を検討し、各学校で対応を行うことになっている。
また、7月と12月を「いじめ根絶月間」と位置づけ、相談活動、道徳指導、保護者への啓発等、重点的取り組みを行っている。

問 岡垣の水を守る、条例整備を早急に！

答 まちづくりの中で検討する



西田 陽子 議員

その思いを伝えていただいたことに感謝している。

問 今後同じ問題が起こらないために、岡垣町地下水保全指導要綱の中の水源地从ら半径2キロメートル以内の産業廃棄物の規制の他に、新たに水質汚濁の恐れのある企業規制等の条例を整備すべき。筑紫野市を参考に。

町長 まちづくりの中で支障をきたさないよう検討していく。

問 今回住民から一番受けたことは、このことが関係者以外の地域住民に知らされなかつたこと。第四次計画の中に情報公開の充実とある。

町長 行政情報は基本的に適



吉木地下水販売所

町長 弘大寺山系から永年に渡って流れてきた地下水が私たちの飲料水となっている。町が開発業者と協議する中で

正に公開している。

問 各区长に西田議員が署名に回ってきたかと電話されたことに對し、署名活動に對する圧力を感じた。憲法16条には何人も請願するために差別されないとする。

町長 「区長会の会長が了承

問 冠水対策は 農業のためかイオンのためか

答 イオンのためにすることはありえない



平山 弘 議員

理するということがあつてはならないと思うが。

町長 イオンという一企業のために、冠水対策をすることはありえない。今後もない。

問 イオン建設で田んぼが隆起し、隣接する田んぼに水が溜まらなと言われている。

水田稲作に大きな影響を与えるので、調査していただきたい。

町長 今出ている問題については担当課も含めて十分真剣に考えていきたい。

問 イオン周辺での農薬・肥料の散布で買ひ物客等に迷惑

して署名活動を行っている」と言われたかを確認した。

問 町と住民との信頼関係を損なえば協働はできない。

町長 町も最初から問題だと認識しており、署名が後押ししてくれた。



農水路と井堰

をかけるが、イオンは散布して良いと言っている。

町長 町としても解決するようにはしていきたい。

中和剤等で対応できないか、イオンに検討するように行政指導し協議されている。

問 水路に蓋をすると堰とめになり、上流に滞留することになりはしないか。

町長 水路、水処理については、矢矧川の改修なども含めて、地域特性を有効に生かせる形で取り組む観点で進めている。

問 周辺住民の声を良く聞いて、検討、説明するように。

町長 協議の場を持っているので続けていきたい。

問

携帯電話で住民ニーズの高い防災・防犯情報を！

答

情報受発信を行えるように考えていく



三角 善彦 議員

図りながら、防災や防犯の情報受発信を行えるように考えたい。

問 平成18年度決算の考察についての見解は。

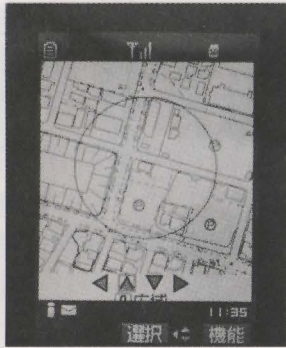
町長 住民サービスの提供に必要な財源を確保するため、財政調整基金から4億1千万円の繰り入れを行いました。（18年度末残額約20億円）。

平成19年度も当初予算において6億2千万円の繰入金を上記しており、平成18年度決算

問 今後の情報発信のあり方を考えたとき、広報等による従来の確実な情報発信と、一方では、携帯端末等を活用した即時性を備えた情報発信の2つの手法が求められるのではないのでしょうか。1億台の登録がある携帯電話の活用は、「さずな（絆）」の強いまちづくりの一つの手段と考えますが、町長のご見解は。

町長 「防災・防犯の行政情報」は、アンケート調査で最もニーズが高い。町が緊急時に情報提供を行う際は、同報系無線の整備や、携帯電話のメール機能などを活用して、

住民、行政、学校、地域が双方向でコミュニケーションを



携帯で安否確認

の実質収支である約3億5千万円を全額繰り越すことで年度間の財政調整を行いたい。また、行財政構造改革による取り組みをさらに徹底することで繰入金を抑制し、財政基盤の安定に努めてまいります。

◇このほか中心市街地の活性化策についても提言を行いました。詳しくは公式ホームページ「みすみです」をご覧ください。

声

住民の

素晴らしい「ふる里」岡垣を子孫に残そう



俵口 勝美 さん
手野区

岡垣は自然環境に恵まれた人心豊かで行財政も誇れる素晴らしいふる里である。

私たちはこれ等の遺産に感謝し次世代に送る責任がある。

9月の議会傍聴で行政・議会の両輪健全で気持ち良く、ただ傍聴者が少ない無念が残った。

町財政は計画プログラムを着実に実施し、見直し検証中だが自治体としての限度ありと認識した。また町づくりの論議は身近で内容の濃い質疑応答であった。イオン出店が町民の期待通りを望む。

町づくりは行政・議会・町民が責任・役割分担させねば出来ない。

傍聴で自己研鑽・自覚し、議会の活性化に寄与大である。40の傍聴席が1人でも多くの着席を待っている。誘い合い、ぜひ議会傍聴に行こう。

素晴らしいふる里岡垣を子孫に引き継ぐ町づくりに向けて、困難克服、一致協力して頑張ろう。

岡垣町は四町合併可否に自立の町づくりを選択した。

三位一体改革は国優先の財政再建策で、悲鳴をあげる自治体も報じられている。

町は総合的町づくり計画に基づき行財政構造計画に取り組んでいるが、このままでは自立の峠を越せるか危惧される町財政状態になると思う。

みなさんからの陳情
委員会に審査を付託

総務常任委員会

全員一致採択

▽地方財政の充実・強化を求
める意見書の採択を求める
陳情

(陳情者)

自治労岡垣町職員労働組合
執行委員長 上部 龍二

国への意見書(要旨)
地方財政計画策定や交
付税算定プロセスに地方
が参画するも、地方
税の充実強化、地方交付
税制度の財源保障機能と
財政調整機能を堅持し、
自治体の安定的な財政運
営に必要な一般財源の総
額を確保すること。

経済建設常任委員会

賛成多数採択

▽イオン出店に関する細目に
渡つての情報公開を求める
陳情

(陳情者)

イオン出店問題を考える町民
の会
代表 細川 光利



文教厚生常任委員会

継続審査

▽戸切小学校近くの有害図書
類販売施設に関する陳情



有害図書販売施設

(陳情者)

戸切小学校区育成会議
会長 石田 寛治
戸切小学校PTA
会長 石田 登起子
岡垣東中学校PTA
会長 井上 義弘

議会事務局職員が替わりました。

事務局長 高山 哲郎

係長 広渡 英一

書記 渡辺 祐佳里

平成19年10月1日の人事異
動に伴い、占部延幸事務局長
が教育総務課へ異動になり、
新たに高山哲郎事務局長を迎
えることとなりました。

議会事務局は、議会に関す
るすべての事務を整備し、議
会の機能を十分に発揮させる
よう、日々の業務に奮闘して
います。

議会審議の様子はどなた
でも傍聴することができます
ので、お気軽においでくださ
い。



渡辺書記

高山局長

広渡係長

おわび

前号(No.67)の討論ページ
の岡垣町国民健康保険条例
の一部を改正する条例は、岡
垣町国民健康保険税条例の
一部を改正する条例の誤り
です。

訂正しおわびします。



●堤病院運動会●



●高齢者スポーツ大会●



●遠賀郡町議会議員研修会●

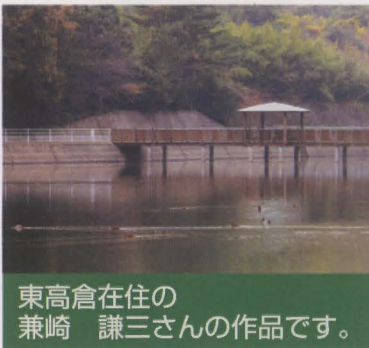


●更生会ふれ愛まつり●



●岡垣町青少年の主張大会●

**どうぞ
傍聴席へ**
次の定例会は
12月10日 開会の予定



東高倉在住の
兼崎 謙三さんの作品です。

表紙の紹介



編集後記

石井 要祐

「暑さと寒さも彼岸まで」
彼岸入りの9月20日に9月定例会が16日間の会期を経て閉会した。本年は例年になく猛暑続きで屋外・屋内で発症した熱中症でお年寄に限らず若年者の尊い命を奪っていく報道は、日頃よりの「健康における知識」「体力づくりの知識」を養う事の大切さを実感するところである。暑さの中でも、にわか雨(夕立)が適当に降り、束の間の涼を感じ、その後の美しい七色の虹を見上げた昔の光景が懐かしい。最近の降雨は遠慮なしの集中豪雨で、各地における大災害の報道には心が痛む、と同時に此の現実には地球環境の変化によるものとの思いで、出来る事から環境保全に努めたい。

発行責任者
議長 長 太田 強
議会広報特別委員会

- 委員長 三角 善彦
- 副委員長 横山 貴子
- 委員 石井 要祐
- 委員 西田 陽子
- 委員 平山 弘
- 委員 竹内 和男